

春ですなア; [美智子](#)さん鹿児島へ



城山にて

■日南海岸を南下

私も先日、親しくしている近所のご夫婦に誘われるがままに「みやざきフラワーフェスタ2007」に自泊してきました。

初日は、戦後しばらく新婚旅行のメッカとなっていた日南海岸を南下し、こどもの国(フラワーフェスティバル島・鵜戸神宮などを久し振りに訪ねました。

翌日は、フローランテ宮崎(四季折々の各種の花を展示した市営施設)と西都原に立ち寄り満開の境群の中を散策し、帰路につきました。〔詳しいイベント内容は[こちら](#)をご覧ください。〕



＜フラワーフェスタメイン会場＞



＜青島＞



＜鵜戸神宮＞



＜フローランテ宮崎＞

4, 1; [重石](#)

■私は東京へ

飯田橋から護国寺へ向って進むと右上の高台にあり広大な敷地にマンションや木造住宅も含め多りました。民主党の花見会などで使用されている通称音羽御殿です。

広い庭には樹木や薔薇など花も植栽され、東側には鳩山一郎氏や両親(鳩山和夫・春子)の銅像; 文夫氏作という



<音羽御殿>



<第2応接室>



<食堂>



<サンルーム>

詳細は3, 21; [麻生](#)

■鹿児島へ

二泊三日で鹿児島に行ってきました。ステーションホテルに二泊で用事を済ませて市内観光、奄美大島の地元桜島にも渡ってきました。当地は西郷さん一色でしたね～

城山からの眺めは最高でした。鹿児島は暖かったのに阿蘇に入ったら山は真っ白、県境まで雪がありました明日は又寒いとか 桜も遅れそう～



西郷さんの立てこもった洞窟



桜島山

3,15; [堤](#)

■バッテン長崎へ

平和の像とめがね橋、オランダ坂です 思い出して楽しんでください

オランダ坂は朝、7時ごろ散歩しました 長崎の街は何度行っても情緒のある街ですね 有名な佐世保のビックバーガーと島巡りの船です

長崎は3月1～2日間、ランタン祭りに義妹と行って来ました 賑やかで人の多いのに吃驚です 柳川後4時にホテルに到着して♪長崎ぶらぶら節、ではないけど、新しくなった出島、めがね橋、中華街場へ 中国にはイノシシはなく大きなブタのランタンがブタのお尻を照らしていました次の日は嬉野(九島めぐり)とまるまる遊んできました 程よい疲れで、もうこれくらいの旅が一番良いような気がし華街、です

柳川も4～5回以上は行っていて船には今回は乗船しませんでした平和記念公園もお馴染みの所は変わっていますね 長崎といえば、めがね橋、娘がいた時に大水害で流されたのが久しぶりに復元されていました お馴染みの写真です

3, 2; [堤](#)



ランタン祭り



船下り



出島



中華街



めがね橋



オランダ坂



オランダ坂その2



佐世保のビックバーガー

■神戸から宝塚へ

2月26日は宝塚劇場を訪ねました。ただ今の歌劇は花組公演＜明智小五郎の事件簿＞江戸川乱歩はショー作・演出/荻田浩一の『TUKEDO JAZZ』でした。

縁結びの神社で紀香さんと陣内さんが結納を交わした昨年末から参拝客が増え、式の予約と照会400件に上ったとか。先日17日に藤原紀香さんが結婚式を挙げた処ですが、この日も沢山の参拝客が訪れたそうです。

神戸市の中心市街地である中央区(旧生田区)の生田神社です。式の当日は一般客の境内立ち入り禁止となり、兵庫県警からも警察官200人が出動して警備に当たったそうです。



生田神社＜参道と鳥居＞



生田神社 <楼門>

縁結びの神 <生田神社
拝殿>

<神戸市役所ビル>



<宝塚エリアゲート>



<宝塚ショッピング>



<劇場施設>



<キャトルレーヴ宝塚>

詳細は2, 28; [麻生](#)

■横尾歌舞伎へ

日曜日に引佐・横尾というところで開催された歌舞伎を観に行きました。中津市よりももっと田舎のから25キロほど北へ行った山の中です。

静岡県無形文化財で200年以上前から横尾地区に伝わる農村歌舞伎で、役者から義太夫、三味線すべて地元の人たちが受け継ぎ、その伝統を守り続けている。

少年団出演の「仮名手本忠臣蔵」七段目と、保存会出演の「菅原伝授手習鑑」車引きの場の二つ
詳細は2, 20; [麻生](#)



横尾歌舞伎資料館



由良之助と遊女おかる



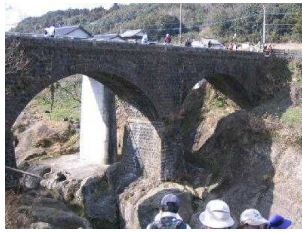
菅原伝授手習鑑



特別公演終演の

■宇佐石橋探索ウォーク

2月11日、12日と宇佐市内町の石橋探索ウォークと大分市の九六位森林浴ウォークと出かけてきました。富士見橋・遠くに雪が久住山・そして荒瀬橋です。



2, 14; **野仲**

■竹六会開催

2月9日の大分竹六会は、修ちゃんの総合司会で大変楽しい会になりました。みっちゃんとお修ちゃんが楽しく歌っているところです。夜は孝ちゃん修ちゃんが盛り上げてとっても楽しい会になりました

5時から始まり帰り着いたのが10時でしたから良くまあこんなにと我ながら驚いていますみんな元気がよくて負けそう～です修ちゃん、二次会はお世話になりました



仲良しよ～ん

■浄瑠璃見物

北原人形浄瑠璃の話の続きですが中津市からは6キロ以上も離れているとは知らずに、喫茶店でコーヒーを頂きながら、それは大変ですね、タクシーで行かないとバスも一日に一往復しかないし、2千円以上はかかるのではとお話していたら近くにいた選対の方が(県議)行ってあげましょうと案内していただき当地に行くことができました

ひなびた田舎の境内で車で来て場所を探すのに大変だったのではと云ったような所でした

おかげで帰りも親切な方が中津駅ならどうぞ！とまた親切に甘えてしまいました。きっと今日の運勢が良かったのではと一人旅もまた楽し、とついている一日でした

桜の季節が竹の子の時期だと思っていたら近くでは梅が満開、めじろが沢山密を求めて囀っていました。竹の子も随分と大きくなっていたので写真に収めてきました。三日前には小雪も

舞ったので心配でしたが大丈夫でした



浄瑠璃



同 囃子



同 舞台



満開の梅



竹の子よ

2, 5; 美智子

■故郷便りと近況

先日の10キロウォーキングには、市役所の担当者も含め12名参加しました。全員万歩計を着けて歩き、最後に歩数を点検したら、14000弱～16000歩強まで2000歩余の差がありました。

腰痛には、大股で歩く方が効果があると聞きましたので、私は平素でも極力大股で歩くように努めています。減量対策などには、小股で汗をかくように早足で歩くのが良いそうで、家内は早足で歩いているようです。寒くても頑張って散歩をしましょう……

長小野

修ちゃんは背が高くそれだけ歩幅も大きいと思います。大股で歩ける人は10キロメートルぐらいは歩きたいでしょうね。

この寒い時季は健康を保つためか、ウォーキングや市民マラソン大会が多いですね。私もウォークには時どき参加していますが、お互いまだまだ元気で歩きたいですね。

私の万歩計はただ今(現在)累計歩数2489万歩／合計日数 2040日となっています。65歳になる平成12年秋に退いて(くび)歩きはじめたのですが、翌年になってベルトレス短パンのため万歩計を落して2個目です。

ですから平成13年7月1日からの新たな記録です。上段が万単位の累計歩数で下段が合計日数になっています。中段が10万歩まで記録できるリセットボタン付きになって埋め込まれた電池寿命は10年くらいの使い捨て製品です。

tsurigane

平素の散歩は6～7千歩です。1分間に105～110歩の速さで歩いています。距離にして5キロ弱でしょうか。

安ちゃんは万歩計を長く使われているのですね。私は退職直後に買いましたが、電池が切れて暫く使わずにいたら行方不明になりました。先日は市役所が持参した同一機種を全員使用しましたが、歩数や消費カロリーだけでなく色々な機能がついていましたので、また買

い直したいと思っています。

長小野

小走りで後ろをチョコチョコついていくような感じですょ(^_^)私は2キロ(港の見える丘公園)を往復して途中ストレッチ2回で合計4キロ丁度です。時間が55分です

小高野

陽気に誘われて昨日は故郷入田～大田、倉木～長谷川、緒方とドライブして来ました 泉水辺りも大きく道路が変わりそうです
姿岩本も道が広くかわりそうでしたね 道路が広くなれば人口も増えるのでしょうかね。昔の道が消えていくのも何だか寂しい気がしますね。と云うか私達の存在も(昭和)もう遠いものになってしまうのでしょうかね

でも故郷っていいですね～

みちこ

道路は拡張整備され、建物は時代とともに新しく建て替えられ、田圃も機械化に相応しく整備されているようですね。でも私たちは、まだまだ元気を出しましょう。！ 来年の23会では時間があればドライブもしたいし部落をテクテク歩いて写真を撮りたいですね。

tsurigane

ご無沙汰しました。パソコンをアップグレードしてまたまた何もかも止まって困っています。調子がよくなったら送信します。

野仲

■春もすぐです

庭の梅の蕾も膨らんできました

三枚目は豊後梅で薄ピンクの八重で、他の梅より少し大きいです

1, 23; 重石



■湖東から大原へ

最初の写真は安土城跡です。小さな安土山ながら城は急坂あり、右に左に曲がり途中には羽柴秀吉邸、前田利家邸、徳川家康邸などを配し、攻め難い城のようでした。
大手道を過ぎて、織田信忠など武将の屋敷が続いたあと出丸からは動物の首のような狭い道を登ると黒金門に辿り着き西の丸、本丸、天主閣となっていました。

難攻不落の城も築城から3年で放火により焼失・・・現在周りは干拓で陸地になっているが、当時は内湖に囲まれて、京にも近く東海、北陸の要所ですね。



安土城の急坂(大手道)



安土山



羽柴秀吉邸趾



黒金門趾



織田信長公の廟



天主閣趾の碑



天守閣趾

＜日牟禮八幡宮＞は八幡城趾のふもとに建ち、御由緒には『第六十六代一條天皇の勅願により、正歴二年(991)法華峰(八幡山)に社を建て、宇佐八幡宮を勧請して、上の八幡宮を祀り、寛弘二年(1005)遙拝の社を麓に建て、「下の社と号す」とあり、現在の社は麓の社に相当すると解することが出来ます』と気され、千有余年の歴史を誇る近江八幡の総社。近江八幡の人々の篤い信仰と加護により繁栄したと言われています。＜日牟禮八幡宮本殿＞琵琶湖の南野洲市に在り、近江富士で名高い山です。正しくは三上山で標高432メートルだそうです。＜八幡堀＞



近江八幡の町が発展した理由はいくつかあるが、八幡堀の役割は欠かせないという。堀は城を守るために在るが、豊臣秀次はこの八幡堀を運河として利用することを考え、琵琶湖を往来する船をすべて八幡の町へ寄港させたといわれています。



<能舞台>



日牟禮八幡宮拝殿



同 楼門



近江富士

八幡(鶴翼)山は、ロープウェイで僅か4分ほどで頂上に着きました。城趾には村雲御所瑞龍寺の山門や本堂、稲荷、地藏などが建っています。

豊臣秀次の菩提を弔うため、生母が京都村雲の地に建立した寺を昭和36年、ここ八幡山に移築したようです。城壁の周りには遊歩道があり一周でき、標高286メートルは絶景です。



手前の低い中程が<安土城趾>



村雲御所<瑞龍寺 山門>



同 <瑞龍寺 本堂>



城趾北側の石垣

翌日は琵琶湖大橋を渡り真野から途中を経て鯖街道を西進、大原の里へ向いました。京都市街からだとい出川(出町柳)を通って来ると思いますが、名古屋方面からだとい琵琶湖を横切る方が近いですね。

阿弥陀寺は鯖街道から入り直ぐ中国風の山門を潜り30分程山道を上りますが丸で登山のようでした。阿弥陀如来の石碑や石仏、300本といわれる楓が林立し、紅葉の名所だそうです。参道の高さ70メートル、樹齢760余年の<古知谷カエデ>は天然記念物です。山門から遠く山の中腹に在るので一般の観光客は少ないようでした。

<石廟>この巖窟は弾誓上人が入定される一年前に当寺で修業中の僧らに頼んで掘らせたもの。上人は石棺の真下に掘ってある二重の石龕に生きながら入れられ「ミイラ佛」となられた。明治15年にこの石棺が収められる時「ミイラ佛」も下よりお出して現在この石棺に収めてある。(パンフからで、写真は撮れなかったです)

山門から参道(山道)を延々と上り着くところに<禁葷来酒肉の碑>が在りました。酒や肉に飲食を断つということでしょうか。

<阿弥陀如来坐像>本堂に安置され、重要文化財に指定される鎌倉時代の作であるが作者は不祥。

宝物殿には他に弾誓上人ご常用の法衣等、佛具や修業の時使用された道具が展示され、更に皇室から賜った多数の宝物が陳列されて有りました。

『歴史が古く聖徳太子が推古2(594)年に建てたと伝えられる寺。壇浦の戦で破れ都に戻った建礼門院が出家した後住んだ事で知られる。建礼門院はここで息子安德天皇と平家一門の冥福を祈った。滅んだ平家の悲しい運命を表すような物悲しい佇まいが印象的である』(パンフレットから・・・)



<庭園と書院>書院の左前庭には太閤秀吉公が寄進した南蛮鉄の燈籠が見える。

[＜朧清水は建礼門院ゆかりの泉＞](#)『朧とは、春の季節の月光の意味で、建礼門院が京都からはるばる寂光院へお越しの道すがら、この清水のあたりで日が暮れて、自身のお姿が月光によってこの水溜りにおぼろに写った』といわれます

大原の「三千院」と「音無の滝」を廻って今回の旅は終わりました。



＜禁葦来酒肉の碑＞



＜阿弥陀如来坐像＞



＜五智如来像＞



＜聚碧園＞



＜宸殿＞



＜有清園＞



＜二十五菩薩慈眼の庭＞

そうそう忘れていました。三千院へ上がる木戸に立っていました

♪「京都～ 大原三千院～ 、恋に破れた女が～ ひとり～」



詳細は1, 12; [麻生](#)

■新年の投稿写真

＜伊勢から＞

天気良く夫婦岩から神宮へ外宮(げぐう)を先に内宮詣で大阪南港に午前6時半について、そこから貸し切りバスで伊勢へ向かう。大阪、藤井寺、柏原、天理、名張、松坂、伊勢、二見と走り最初に二見ヶ浦(夫婦岩)に着いた。その後真珠工場、外宮、内宮と回り、朝通ったコースと全くタコースで大阪南港に着き、午後18時40分出港の船に乗った。

1, 8; [野仲](#)



＜大分から＞

私はおくらばせながら今日、ふじの西寒多神社に初詣に行きました。庄内神楽を奉納していましたので、一寸だけ見物しました。動きが早いので写真はよく撮れていません。

1, 4; [重石](#)



＜静岡から＞

我が家から20キロくらいの郊外に在る市営フルーツパークへ出かけてきました。これはリンゴやミカン、キウイフルーツなどの果物を並べて新年の干支を描いたものです。

昨年、一昨年は館山寺というところに在る市営フラワーパークで、葉ぼたんで描いた戌や酉の写真を撮りました。が、説明によると今年は4メートル四方の台に2700個の果物を使ったそうです。

1, 3; [麻生](#)



果物で描いた干支の亥



パパイヤ園にて



パイナップル園にて

■造幣局と大阪城

頭に大阪を付けて「大阪造幣局」といいますが、正しくは『造幣局』だそうです。下部に東京支所と広島支所があるそうです。広島支所では原材料を調達して材料を製造したり、造幣局での不良品や日本銀行から回収された古い貨幣を材料として再生しているようです。[造幣局庁舎](#)



造幣局では硬貨のみ製造している、いや硬貨(貨幣)を造るところが造幣局で、お札(紙幣)を造るところが印刷局だそうです [造幣局くさ](#)



[くら名所100選の地](#)>

桜の通り抜けで有名な大阪の造幣局内の桜並木の通りです。立て案内板に次のように書かれていました。 [古代の貨幣](#)>



『造幣局の所在地で在るこの辺は、昔から景勝の地として名高く、春は桜、夏は涼み船で、秋は月など四季折々の賑わいを見せ、特に春の桜は有名で、対岸を桜ノ宮と呼ぶに相応しく、この地一帯に桜が咲き乱れていたといわれています。造幣局の桜は、明治の初めに藤堂藩の蔵屋敷(泉布観の北側)から移植され、品種が多いばかりでなく、他では見られない珍しい里桜が集められていました。<天正菱大判(左)><天正長大判(右)> 明治16年、当時の造幣局長遠藤謹助の“局員だけの花見ではもったいない。大阪市民と共に楽しもうではないか”との発案で、。<でき立ての硬貨> 満開時の数日間構内川岸約560メートルを開放して一方通行による通り抜けが始まった。以来124年桜を愛する人々の協力に支えられ今に続く花の里であります。』



に楽しもうではないか”との発案で、。<でき立ての硬貨> 満開時の数日間構内川岸約560メートルを開放して一方通行による通り抜けが始まった。以来124年桜を愛する人々の協力に支えられ今に続く花の里であります。』

<古代の貨幣>

造幣博物館にて古代の貨幣がた



くさん陳列してありました。

<天正菱大判(左)>

豊臣秀吉が造った天正19年製 豪華な大判、現存数は6枚だけと極めて少なく、非常に貴重な大判は、一枚時価1億円だそうです。

＜天正長大判(右)＞

豊臣秀吉が造った世界最大級の金貨(原寸大)といわれています。

＜でき立ての硬貨＞

でき上がったばかりの50円玉(奥)と10円玉です。手前の10円硬貨は工場見学中にベルトに載って出て来たでき立てのホヤホヤを職員がザルに入れて持って来たモノで「10」の数字と「平成十九年」の圧印が読みとれました。手に取って見たいところですが見学コースはウインドーガラスで遮られています。

＜50円白銅貨幣＞

素材／白銅、品位／銅750、(千分中)ニッケル250、量目／4g、直径／21mm、孔径／4mm、発行年／平成 19 年

＜10青銅貨幣＞

素材／青銅、品位／銅950、(千分中)亜鉛40～ 30、すず10～20、量目／4.5g、直径／23.5mm、発行年／平成 19年



久しぶりに大阪城を訪ねました。

震災後、改修工事が行われたと聞いていましたが、きれいになっていました。天守閣というと屋根は黒い瓦ですが、この天守屋根はみどり色だけに一層引き立って見えますね。

みなさんには説明は不要と思い省略します。

桜門の枡形内＜巨石＞

本丸の正門を守る重要な枡形とあって立派な石が用いられ、城内一番の36畳敷き(60・)の大石で、重さが130 屯とか。

余談になりますが、天守閣は1928年に当時の市長によって再建話が持ち上がり、1931年に竣工といいますから私どもより少し早く生まれ(復元)たのですね。

初層から4層までは徳川時代風の白漆喰壁とした一方、5層目は豊臣時代風に黒漆喰に金箔で虎や鶴の絵を描いたのですね。



＜大手門登城路＞



＜多聞櫓＞



＜千貫櫓(左)＞と＜多聞櫓(右)＞



＜桜門＞



桜門の枡形内<巨石>



<天守閣の鯨>



<西外堀>大阪府庁前

■紀州は松阪市へ

『伊勢国司北畠氏や戦国の名将蒲生氏郷公など、全国に名を轟かす時代の偉人が築いた城郭跡が市内には随所(松坂城跡、松ヶ島城跡、大河内城跡、阿坂城跡)に観られる。

松坂城は戦国の智将と唱われた蒲生氏郷の築いたものである。氏郷は初め松ヶ島城に入城したが、狭いため四五百森の丘に移った。天正十六年のことである。

高さ三十メートルの丘陵の周囲に内堀を巡し本丸・二の丸・三の丸から構成されていた。本丸には、桃山様式の三重の天守が聳え建ち、そして敵見・金の間・太鼓・月見・藤見・遠見櫓などをはじめ諸門を合わせ十数棟の建物が在った。二の丸は華麗な御殿、三の丸の中央には大手門筋が通り、両側に城代屋敷、御鷹部屋、武家屋敷が並んでいた。城下町は、住民を移住させ、交通の便を図ったり、楽市楽座制を敷いたりして城下町を発展させた。

江戸時代は紀伊藩領となって、以後明治維新まで紀州藩の城代が松坂領を統治した。』パンフより。写真は松坂城の表門跡



太鼓櫓跡



隠居丸跡



天守閣跡



敵見櫓跡

観光ガイドにそって、ぶらり松坂の街を散策しました。近江商人、博多商人、そして松坂商人を三大商人と呼ぶと聞きました。いずれの地も戦国の名将が支配したので発展したことでしょう。<御城番屋敷> 城の警護を任された紀州藩士とその家族が住んでいた武家屋敷。石畳を挟んだ両側に、緑深い垣根が連なる様子は、しっとりとした和の情緒を醸し出している。文久3年に建てられたといい、現



存例の中でも最大規模とされる。

＜本居宣長旧宅＞江戸時代中期―後期の国学者。享保15年5月生まれ、伊勢松阪の木綿



商／小津定利の子。

＜三井財閥発祥の家＞白い壁に囲まれたこの地は、のちに越後屋、三越と発展を遂げた三井家全盛の基礎を築いた三井高利ゆかりの場所とされる。三井グループの創始者、三井高利延は宝元年、52歳の時、後の三越である越後屋を江戸に開店させた。今では当たり前とされる「店頭販売」や「現金掛け値なし」の商法を打ち出し大成功を治めたという。

＜江戸木綿問屋／長谷川邸(板塀と見越しの松)＞千本格子、虫籠窓、妻入りの蔵、そしてうだつの上がった屋根など、落ち着いた佇まいの中に当時の松阪商人の繁栄ぶりが伺える。



12, 12; [麻生](#)

■古謝先生の奥様のご不幸

12月4日告別式がありました。詳細は[「経過」](#)の欄をご覧ください

■宇治川の紅葉

先日宇治の紅葉見物と宇治川の両岸や市街を歩いて来ました。

お茶屋さんが軒を連ねる市街の県神社参道を進み宇治橋を渡り宇治川の右岸の紅葉を観ながら歩き、さわらびの道を仏徳山の展望台へ登り、宇治川、中の島など市街が一望できました。



仏徳山展望台からの眺望



世界遺産で国宝の宇治上神社 拝殿

源氏物語の街

「さわらびの道・あじろぎの道」を歩き源氏物語の最後の十帖がその主要な舞台が宇治の地に設定。宇治十帖と呼ばれています。ここでは橋姫・早蕨・總角などを観て廻りました。



さわらびの道に色づく紅葉



紅葉で知られる琴坂



朝霧橋上から宇治橋方面を望む



宇治川に架かる朝霧橋



寺



<紫式部像>



源氏物語・總角(あげまき)



<興聖寺の門>



塔の島に建つ十三重石塔

1.

■五稜郭・・そして小樽へ

札幌の夜はロマンチックでしたよ～ん 小樽は雪が少なくて一寸がっかりでした。
でもね、千歳空港は一面真っ白でおまけは3日間殆ど風も無く二人で精一杯楽しむことができました(^_^)

写真は五稜郭の中の火筒、展望台からの風景です

11, 25; 美智子



砲台



五稜郭

■感激！奥様が撮影

自治区と老人会共催で第六回芸能祭を開催しました。
素人のみの出演ですが、回を重ねるにつれ、内容も充実してきました。私も歌いたかったのですが、司会進行役を押し付けられ残念でした。
写真は家内が撮ったもので、少しぶれていますが11,23



家内が昨日訪ねた、いま大人気の佐賀の九年庵の紅葉と長崎の九十九島
;ご主人が怪我をされたもので、こうして奥様が替わりにお出かけになり写真を送ってくださいました。ありがたいことです、きれいな海ですね。

11, 14; 重石



[———— Page Ends Here ————]

アドバンスドHTMLエディタ

[トップ](#) > [ファイルマネージャ](#) > アドバンスドHTMLエディタ

Yahoo!ジオシティーズのホームページ作成ツール「ジオクリエーター」が、正式版となりました。無料で利用できます。「利用するエディタ」でアドバンスドHTMLエディタ、またはジオクリエーターのどちらかを選択できます。

ファイル名: [index.html](#)

新規

プレビュー

保存

保存して編集を続ける

リセット

キャンセル

アドバンスドHTMLエディタへようこそ。このエディタは、独自のHTMLファイルを編集したい場合にご利用ください。「プレビュー」を押すと、今お使いのブラウザにどのように表示されるかを確認できます。※作成済みのファイルを編集したい場合は、ファイルマネージャから編集したいファイルにチェックし、編集ボタンを押してください。

```
<center>
<h4>春ですなァ ; <a
href="http://jyoumyaku70.web.infoseek.co.jp/oonogawa.html">美智
子</a>さん鹿児島へ</h4><A href="m070315.jpg">
<IMG src="m070315.jpg" width="300"></A><h5>城山にて</h5></tr>
</center>
<TABLE border="0" width="610"height="150">
<TBODY>
<tr>
<h4>■日南海岸を南下</h4>
<p><h4>私も先日、親しくしている近所のご夫婦に誘われるがままに
「みやざきフラワーフェスタ2007」に自家用車で出掛け、一泊して
きました。
<p>初日は、戦後しばらく新婚旅行のメッカとなっていた日南海岸を南
下し、こどもの国（フラワーフェスタのメイン会場）や青島・鶴戸神宮
などを久し振りに訪ねました。
<p>翌日は、フローランテ宮崎（四季折々の各種の花を展示した市営施
設）と西都原に立ち寄り満開の菜の花や桜並木・古墳群の中を散策し、
帰路につきました。
    【詳しいイベント内容は<a href="http://www.kanko-miyazaki.jp">
    こちら</a>をご覧ください。】

</tr>
<TR>
<TD><A href="s070401.jpg"><IMG src="s070401.jpg" width="150">
```

編集内容は時々保存するようにしてください。編集中にインターネット接続が切れても、自動的に保存されることはありません。

新規

プレビュー

保存

保存して編集を続ける

リセット

キャンセル